

課題

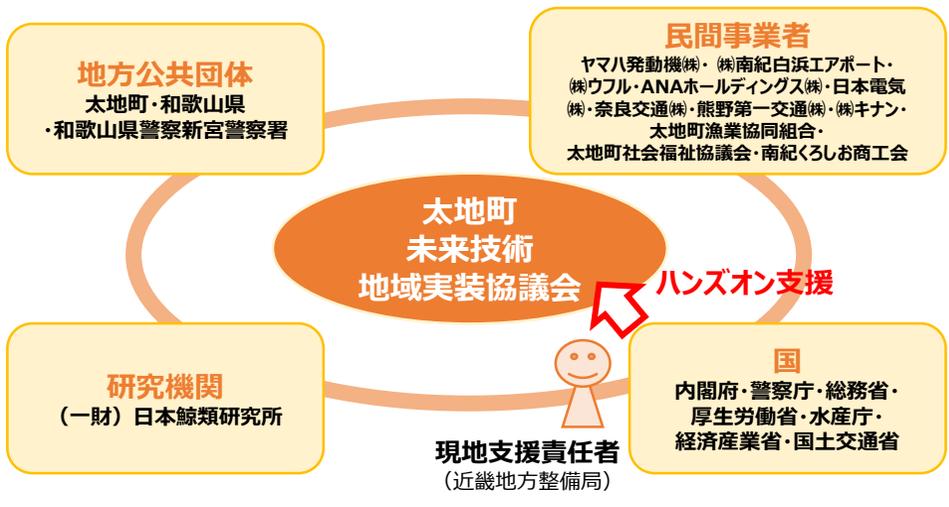
○高齢化率は、43.9%で増加傾向。特に高齢者が多く居住するエリアは、家屋が密集しており、既存コミュニティバスでは、運行することができないほど道路が狭く、既存バス停まで歩いていくのも困難。ラストワンマイルの支援



狭あい部  
(家屋が密集し、道路が狭く、  
既存バスは運行不可)

○漁業振興や森浦湾等における観光振興

推進体制



課題解決に向けた取組

自動運転実証事業、ドローン実証事業、見守り実証事業

- 自動運転実証事業：自動運転による持続可能な公共交通サービスの実現
  - ・ 町の中心部並びに主要施設（病院・スーパー等）を多頻度で往復・周回することによる高齢者の生活の足を確保
  - ・ 道の駅を拠点とした主要観光地を巡る観光客の足を確保
- ドローン実証事業：海域における物資輸送や鯨類調査等の実現
  - ・ 漁具等の輸送による漁業従事者の負担軽減
  - ・ 観光客（マリン事業）へのサービス提供や、鯨類調査の効率化によりくじらの学術研究都市の実現を加速化
  - ・ ドローン物流により距離的・時間的障壁を解消
- 見守り実証事業：防犯カメラ等を活用した高齢者見守りシステム構築の実現
  - ・ 車載カメラ、防犯カメラを活用し、高齢者の見守りシステムを構築
  - ・ カメラ画像を活用し、顔認証と行動認識を検証、認知症による徘徊や身体障がい者の危険察知等を実施



自動運転実証予定車両



2021年度の  
主な取組

- 太地町未来技術地域実装協議会の開催
- 自動運転実証計画案の作成、計画に基づく走行ルートの選定
- AIBeconを活用した観光動態調査の実施